

授業科目	授業番号： 190			担当者	小林 朋子
	ヨーロッパ事情			授業外対応	適宜対応（要予約）
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	後期	2単位	選択	講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】「大西洋システム」から再考するヨーロッパ</p> <p>【概要】15世紀後半から19世紀前半にあたる「西洋近代」の開始期に、ヨーロッパ人はその主導力によって、大西洋を挟む南北アメリカ、西アフリカをひとつの交換システム、「大西洋システム」に包摂していき、その過程で人種奴隷制プランテーションという近代特有の生産様式をつくり出した。例えば砂糖はその生産様式のもと、ヨーロッパ各国の王侯貴族のステイタスを飾る奢侈品から一般大衆の必需品にまでなり、ヨーロッパ文化に溶け込んでいった。本講義は「国家」間に限定されない異文化交流の歴史をヨーロッパを中心に概観する。そして西洋近代がつくり</p> <p>【到達目標】現在のヨーロッパ事情を歴史的背景を知った上で多角的に理解できる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 明石和康著『ヨーロッパがわかる—起源から統合への道のり』岩波ジュニア新書（岩波書店、2013年）</p> <p>(2) 池本幸三他著『近代世界と奴隷制』（人文書院、1995年）</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1回 イントロダクション</p> <p>第 2回 ヨーロッパの砂糖はどこからきたのか（1）</p> <p>第 3回 ヨーロッパの砂糖はどこからきたのか（2）</p> <p>第 4回 近代世界と大西洋システム（1）</p> <p>第 5回 近代世界と大西洋システム（2）</p> <p>第 6回 近代世界と大西洋システム（3）</p> <p>第 7回 大西洋奴隷貿易（1）：ルネサンスと地理上の発見</p> <p>第 8回 大西洋奴隷貿易（2）：海洋国家オランダ</p> <p>第 9回 大西洋奴隷貿易（3）：奴隷と砂糖をめぐる政治</p> <p>第10回 コーヒー・ハウスが育んだ近代文化</p> <p>第11回 イギリス資本主義・市民革命・「商業革命」</p> <p>第12回 大西洋システムとしての「イギリス帝国」</p> <p>第13回 資本主義世界と奴隷制：地中海から大西洋へ—砂糖の西漸運動</p> <p>第14回 資本主義世界と奴隷制：ヨーロッパの闘技場—カリブ海領有をめぐる角逐</p> <p>第15回 まとめ：砂糖と紅茶—ティータイム儀礼化に内包された歴史</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示する。				
成績評価の方法	授業への参加態度（20%）、発表（30%）、最終レポート（50%）				
実務経験について	なし				